



2021. 5. 23 (日)、異常に早い梅雨入り宣言後の晴天となった日、内藤想像空間から竹を一本切り出すところから始まり、「共栄座事業」で使う “入館札” をつくりました。



竹を選ぶ



瑞々しい切り口、樹液！！甘いッ！！



ただただ切る…無心になれる



入館札成形作業へ



後日干す



首かけ型

WellbeingTour と題して、やろうとした抽象的な活動イメージがうっすら見えた気がした。

どうしても森劇の活動の中で使う道具を 一から手作りしたかったわけではない。
一からやってみるとどんな気持ちいいことがあるのかに興味があったのだ。

風に吹かれながら、竹林から竹を一本いただく。 まずは 切り倒すことが目的でひたすら
鋸を動かす。 何故かやりきりたくなる。

切り口をなめる！ 甘いとは聞いていたが、すごく甘い。

作りたかった木札を計算すると、竹一本の2%くらいで足りることが視覚から納得できる。

後半は公民館をお借りしての細かな作業。
昼食は、内藤自然栽培の米で作ったおにぎり、雑談も美味しかった。

後半ひたすら成形作業。
それぞれの役目が何んとなくできて、ひたすらやり続ける。
この、それぞれの役目が何んとなくできて作業が流れていく、
このことが案内役の役割なんだな〜と、改めて気づく。

内藤先生！ありがとうございました。

実感や心の表情を共有することは、たのしかった。